Summer Special Exhibition: Scenes of Battle —Depictions of Brave Warriors of the Past—

夏季特別展　合 戦 図　もののふたちの勇姿を描く

2019年 7月27日(土) ～ 9月8日(日)

主催：徳川美術館･名古屋市蓬左文庫･読売新聞社

古来、幾度の戦を経て、変革や安定を繰りかえしながら日本の歴史は紡がれてきました。これらの戦の様子は、様々な目的で中世より描かれ記録されています。本展覧会では中世合戦絵巻から戦国合戦図までを展観し、合戦図の多様性を示しながら、合戦図の果たした役割や意義を再考します。

合戦図は単なる記録画ではなく、武家の教育や自家の顕彰などの目的で描かれました。源平の合戦などは、物語化されて民衆まで広く享受されていきます。合戦図の形態は、絵巻だけではなく、屏風や掛軸、画帖や冊子など様々な形で親しまれました。このような合戦図の展開の中で、戦国という大乱の時代を描いた戦国合戦図が、どのように成立し、描かれたのかにスポットを当て、中世から脈々と描き継がれた合戦図の系譜を明らかにします。

A期間：7月27日(土)～8月18日(日)／**B期間**：8月20日(火)～9月8日(日)
- 「※」については右隻：8月20日(火)-9月1日(日)、左隻：9月2日(月)-9月8日(日)の展示。
- 「⦿」は国宝、「◎」は重要文化財です。
- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 参考作品は図録に掲載されておりません。

第１部　中世の合戦を描く

合戦図の登場と展開

史料や現存作例から判明する最初期の合戦図は、『保元物語』や『平家物語』などの軍記物語を基に製作された合戦絵巻であり、武士の戦を描く絵画であるが、おもに皇族や公家、寺院といった上流文化のなかで享受されていました。やがて、武士の政権・鎌倉幕府が成立すると、武士の規範とすべき理想像が投影された軍記物語・合戦絵巻は武士の自戒や教育的目的にも用いられ、さらに広域にわたって享受されていきました。

また、戦を描くことは軍記物語以外でも行われています。武士たちは神仏に祈りを捧げて戦場に身を投げ、時に戦禍(せんか)は寺社をも巻き込んだため、神仏の効験を説く霊験記(れいげんき)や寺社の歴史をつづる社寺縁起にも戦の場面が描かれました。さらに、史実とは離れた御伽草子(おとぎぞうし)でも、仇討に挑む武士や鬼と対峙する武士をテーマとする説話が好まれました。

No.		名　称・作　者	伝　来	時代・世紀	所　蔵　者	展示期間
【合戦絵巻】						
1	◉	平治物語絵巻　六波羅行幸巻	松江松平家伝来	鎌倉　13世紀	東京国立博物館	A
2	◎	平治物語絵巻　常盤巻		鎌倉　13世紀	個人	8/27～9/8
3		前九年合戦絵巻		鎌倉　14世紀	東京国立博物館	巻替
4	◎	後三年合戦絵巻　三巻のうち巻中 詞 持明院保脩筆　絵 飛騨守惟久筆	池田家伝来	南北朝　14世紀	東京国立博物館	巻替
5		平治物語絵巻　六波羅行幸巻　模本 今村随学筆	尾張徳川家伝来	江戸　天明元年〈1781〉	徳川美術館	B
6		平治物語絵巻　三条殿夜討巻　模本 狩野栄信・狩野養信・中山養福筆		江戸　19世紀	東京国立博物館	B
7		後三年合戦絵巻　模本　三巻のうち巻上 詞書 庭田重熙筆　絵 土佐光芳筆	尾張徳川家伝来	江戸　明和6年〈1769〉	徳川美術館	巻替
8		蒙古襲来絵巻 模本　三巻のうち巻下 神谷元秋筆	尾張徳川家伝来	江戸　寛政8年〈1796〉	建中寺	巻替
【合戦場面の展開】						
9	◎	歓喜天霊験記　二巻のうち巻下		鎌倉　13世紀	文化庁	A
10		真如堂縁起　写　三巻のうち巻下 詞 北向雲竹筆　絵 海北友竹筆		江戸　元禄6年〈1693〉	真正極楽寺	B
11	◎	大江山絵詞　二巻のうち巻下	下総香取神社大宮司家伝来	南北朝　14世紀	公益財団法人　阪急文化財団　逸翁美術館	A
12	◎	芦引絵　五巻のうち巻四		室町　15世紀	公益財団法人　阪急文化財団　逸翁美術館	B
13		てこくま物語		室町　永禄9年〈1566〉	碧南市藤井達吉現代美術館	巻替
14		小敦盛絵巻		室町　16世紀	サントリー美術館	巻替
15		男衾三郎絵巻　模本　　狩野養信ほか筆		江戸　文化13年〈1816〉	東京国立博物館	巻替

江戸絵画と古典的合戦図

江戸時代、『平家物語』を琵琶の伴奏で語る「平曲」が幕府に保護され、武家の式楽となった能では源平の合戦に取材する修羅物が演じられるなど、中世の戦記文学は、武士の心に深く根付いていた。室町時代以降にはこれら文学や芸能の影響を受けながら、さらに多様な合戦図が製作されていく。

17世紀には、『平家物語』『源平盛衰記』などが、大部の絵巻や絵本で作られるようになり、上流層で鑑賞された一方、軍記物語は版本でも刊行され、多くの人々に視覚化された合戦イメージが浸透した。

また、室町時代末頃より合戦図は大画面という新たな表現の場を獲得し、江戸時代には様々な「合戦図屏風」が製作されることとなる。大画面に戦場を大観的に捉え、そこに無数の武者たちを躍動させることで、これまでの合戦図にはない圧倒的な戦の臨場感、熱気を伝える合戦図が生まれた。また、「敦盛最期」や「那須与一」などの著名なエピソードを、単独で大きく表す源平合戦図屏風も登場した。これは幸若舞や謡曲などで好まれた場面とも共通する。人物を大きく捉えることで、鑑賞者はその人物に共感し、物語の世界を登場人物と共有する効果が期待されたのであろう。

No.		名　称・作　者	伝　来	時代・世紀	所　蔵　者	展示期間
【合戦図屏風の成立と展開】						
16		平家物語図押絵貼屏風　六曲一隻		室町　16世紀	神奈川県立歴史博物館	A
17		源平合戦図押絵貼屏風　六曲一双　　伝狩野安信筆	岡谷家寄贈	江戸　17世紀	徳川美術館	B※
18		一の谷・屋島・壇の浦合戦図屏風　八曲一双		江戸　17世紀	個人	隻替
19		一の谷・屋島合戦図屏風　六曲一双		江戸　17世紀	個人	A
20		橋合戦図屏風　六曲一隻		江戸　17世紀	林原美術館	B
21		保元合戦図屏風　六曲一双		江戸　17世紀	岡山県立美術館	B
22		源平合戦図屏風　六曲一双　　狩野氏信筆		江戸　17世紀	滋賀県立琵琶湖文化館	隻替
23		屋島合戦図屏風　二曲一双	尾張徳川家・山内家（飽霜軒）伝来	江戸　18-19世紀	徳川美術館	隻替
24		木曽義仲合戦図屏風　六曲一双		江戸　17世紀	千葉市美術館	A
【中世合戦絵巻に学ぶ】						
25		堀江物語絵巻　　岩佐又兵衛筆		江戸　17世紀	京都国立博物館	B
26		堀川夜討絵巻 二巻　　狩野益信筆		江戸　17世紀	神奈川県立歴史博物館	巻替
27	◎	石山寺縁起絵巻　七巻のうち巻六 詞　飛鳥井雅章筆　絵　谷文晁筆		江戸　文化2年〈1805〉	石山寺	B
28		石山寺縁起絵巻　七巻のうち巻六　　谷文晁筆	田安徳川家伝来	江戸　19世紀	サントリー美術館	A
【軍記物語の絵画化】						
29		平家物語絵巻　三十六巻のうち巻第九下 土佐左助筆	越前松平家伝来	江戸　17世紀	林原美術館	巻替
30		奈良絵本 平家物語　二十四冊のうち六冊		江戸　17世紀	神奈川県立歴史博物館	入替
31		平家物語図扇面（手鑑「尾陽」所収）　六十面のうち	尾張徳川家伝来	江戸　17世紀	徳川美術館	頁替
32		平家物語　十二冊のうち	大脇家寄贈	江戸　明暦2年〈1656〉	徳川美術館	頁替
33		堀川夜討図･大森彦七図色紙貼込屏風　六曲一双	美濃部重克氏寄贈	江戸　17世紀	徳川美術館	隻替
34	◎	色々糸威腹巻	揚家伝来	室町　15世紀	東京国立博物館	
35	◎	縹糸威胴丸　兜・大袖付	那須家伝来	室町　15世紀	京都国立博物館	
36		朱塗木瓜紋鞍		室町　16世紀	名古屋市博物館	
参考1		平治物語絵巻 残欠　模本		江戸　嘉永元年〈1848〉	個人	
参考2	◉	太刀　銘 正恒	尾張徳川家伝来 徳川吉宗(8代将軍)下賜･ 徳川宗睦(尾張家8代嫡子･後の9代)拝領	平安　12世紀	徳川美術館	
参考3		太刀　銘 備州長船実光　応永十五年十月日	尾張徳川家伝来 徳川家斉(11代将軍)下賜･ 徳川斉朝(尾張家111代)拝領	室町　応永15年〈1408〉	徳川美術館	
参考4		鳳凰蒔絵白銀造毛抜形太刀拵(刀 銘 和泉守国清 附属)	近衛忠熙進上 徳川斉温(尾張家11代)･慶勝(同家14代)所用	江戸　天保7年〈1836〉	徳川美術館	
参考5		葵紋兵庫鎖太刀拵 (刀 金象嵌銘 延寿国資 附属)	徳川宗春(尾張家7代)･宗睦(同家9代)所用	江戸　18世紀	徳川美術館	
参考6		長刀　銘 了戒子息久信作　徳治三年戊申十月六日	尾張徳川家伝来	鎌倉　徳治3年〈1308〉	徳川美術館	B
参考7		三角直身鎗	尾張徳川家伝来	室町　15世紀	徳川美術館	B
参考8		重藤弓	尾張徳川家伝来 徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸　18世紀	徳川美術館	
参考9		鏃	尾張徳川家伝来 徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸　18世紀	徳川美術館	
参考10		猪毛逆頬箙	尾張徳川家伝来 徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸　18世紀	徳川美術館	
参考11		小桜文韋威大鎧（複製）（原本：国宝 山梨・菅田天神社蔵）		20世紀	個人	

Summer Special Exhibition: Scenes of Battle —Depictions of Brave Warriors of the Past—

夏季特別展　合 戦 図　もののふたちの勇姿を描く

2019年 7月27日(土) ～ 9月8日(日)

主催：徳川美術館･名古屋市蓬左文庫･読売新聞社

古来、幾度の戦を経て、変革や安定を繰りかえしながら日本の歴史は紡がれてきました。これらの戦の様子は、様々な目的で中世より描かれ記録されています。本展覧会では中世合戦絵巻から戦国合戦図までを展観し、合戦図の多様性を示しながら、合戦図の果たした役割や意義を再考します。

合戦図は単なる記録画ではなく、武家の教育や自家の顕彰などの目的で描かれました。一方で、源平の合戦などは、物語化されて民衆まで広く享受されていきます。合戦図の形態も絵巻だけではなく、屏風や掛軸、画帖や冊子など様々な形で親しまれました。このような合戦図の展開の中で、戦国という大乱の時代を描いた戦国合戦図が、どのように成立し、描かれたのかにスポットを当て、中世から脈々と描き継がれた合戦図の系譜を明らかにします。

A期間：7月27日(土)～8月18日(日)／**B期間**：8月20日(火)～9月8日(日)
･「◎」は重要文化財です。
･都合により出品作品が変更になる場合がございます。
･展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
･参考作品は図録に掲載されておりません。

第２部　大乱・戦後の世を描く

合戦図の長い歴史の中で、近年注目を浴びているのが、室町幕府の衰退と内乱の後、全国で勃発した戦国の合戦を描いた「戦国合戦図」です。中世に描かれた合戦図は、物語絵として右から左へと画が展開することでストーリーを進めることができる絵巻形式で描かれましたが、戦国合戦図の多くは屏風形式で描かれました。これは、物語性よりも「長篠」や「関ケ原」という実際の戦場に即して山河を配置し、そこに敵味方の陣や、馬印、旗指物を描き込んでいくという地理的再現を重視したためであり、大画面はその様子を一望するのにふさわしい形態でした。

戦国合戦図は、戦国期に活躍した自家の先祖を顕彰することが主たる製作の目的でありましたが、次第に史実と離れながら、軍記物語の絵画として愉しまれるようになります。本章では戦国合戦図の登場から多様な展開の実態を探ります。

No.		名 称･作 者	伝 来	時代･世紀	所 蔵 者	展示期間
【戦国合戦図の登場】						
1	◎	関ケ原合戦図屏風　八曲一双	津軽家伝来	江戸　17世紀	大阪歴史博物館	隻替
2		長篠合戦図屏風　六曲一隻		江戸　17世紀	名古屋市博物館	B
3		賤ケ岳合戦図屏風　六曲一双		江戸　17-18世紀	岐阜市歴史博物館	A
4	◎	東照社縁起絵巻　五巻のうち巻二　詞 近衛信尋ほか筆　絵 狩野探幽筆		江戸　寛永17年〈1640〉	日光東照宮	巻替
5		東照宮縁起絵巻　五巻のうち巻二 詞 森尹祥筆　絵 住吉広行・板谷慶意・板谷慶舟筆		江戸　寛政6年〈1794〉	名古屋東照宮	巻替
6		大坂夏の陣図 模本	尾張徳川家伝来	江戸　弘化3年〈1846〉	徳川美術館	B
【戦国合戦図の伝播】						
7		長篠長久手合戦図屏風　六曲一双	尾張徳川家伝来	江戸　18-19世紀	徳川美術館	A
8		小牧長久手合戦図屏風　六曲一隻		江戸　18世紀	名古屋市博物館	B
9		長篠合戦図屏風　下絵　八幅		江戸　19世紀	東京国立博物館	
10		関ヶ原合戦絵巻　二巻　鳥文斎栄之筆		江戸　18-19世紀	名古屋市博物館	巻替
11		関ヶ原合戦絵巻　四巻のうち春巻・冬巻	田安徳川家・尾張徳川家伝来	江戸　19世紀	徳川美術館	巻替
12		関ヶ原合戦絵巻　模本　二巻　長谷川雪旦筆		江戸　文化7年〈1810〉	大東急記念文庫	巻替
13		関ヶ原合戦岐阜城攻絵巻　下絵　一巻		江戸　19世紀	徳川美術館	巻替
14		関ヶ原合戦図屏風　二曲二双	田安徳川家・尾張徳川家伝来	江戸　19世紀	徳川美術館	隻替
【戦国合戦図の多様化】						
15		山崎合戦図屏風　六曲一双		江戸　19世紀	大阪城天守閣	B
16		関ケ原合戦図屏風　六曲一隻		江戸　19世紀	岐阜市歴史博物館	A
【幻の合戦図】						
17		大坂冬の陣図屏風　模本　六曲一双		江戸　19世紀	東京国立博物館	7/27 ～8/25
18		大坂冬の陣図屏風(肉筆模写)　六曲一双　武内勇吉筆		現代　平成2年〈1990〉	大阪城天守閣	8/27 ～9/8
特別公開		大坂冬の陣図屏風　デジタル想定復元　六曲一双		現代　令和元年〈2019〉	凸版印刷株式会社	

No.		名　称・作　者	伝　来	時代・世紀	所　蔵　者	展示期間
19		銀箔置白糸威具足	尾張徳川家伝来 松平忠吉(徳川家康四男)着用	桃山　16世紀	徳川美術館	
20		紅･白･花色･紺段威具足	尾張徳川家伝来 徳川家康近侍着用(駿府御分物)	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
21		錐形兜	尾張徳川家伝来 徳川義直(尾張家初代)着用	江戸　17世紀	徳川美術館	
参考1		火縄銃 六匁筒　筒 人物面(アポロ)･唐草文象嵌	尾張徳川家伝来	ヨーロッパ-ｲﾝﾄﾞ 16-17世紀	徳川美術館	
参考2		火縄銃 六匁筒　筒 マリア像･唐草文象嵌	尾張徳川家伝来	東南アジア 16-17世紀	徳川美術館	
参考3		松明	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考4		鎌・鉈･鉞	尾張徳川家伝来･ 徳川義直(尾張家初代)所用	江戸　17世紀	徳川美術館	
参考5		菊桐葵紋散蒔絵刀掛(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考6		菊桐葵紋散蒔絵手拭掛(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考7		菊桐葵紋散蒔絵盃(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考8		菊桐葵紋散蒔絵燗鍋(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考9		菊桐葵紋散蒔絵重箱(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸　16-17世紀	徳川美術館	
参考10		染付唐草文茶碗　銘 荒木	荒木村重･千利休･徳川家康(駿府御分物)･徳川義直(尾張家初代)所用	中国･明　16世紀	徳川美術館	
参考11		古瀬戸肩衝茶入　銘 横田　大名物	足利義政･足利義昭･織田信長･ 豊臣秀吉･徳川家康･徳川義直所用	室町　15世紀	徳川美術館	
参考12		古銅砧形花生　銘 杵のをれ　名物	豊臣秀吉･石川貞清･徳川家康(駿府御分物)･徳川義直(尾張家初代)所用	中国･元-明 14-15世紀	徳川美術館	
参考13		徳川家康　長久手合戦陣中画像	鈴木丹後守献上・尾張徳川家伝来	江戸　17世紀	徳川美術館	B
参考14		金箔押瓦破片　大坂城青屋口堀外出土	陸軍大阪砲兵工廠寄贈	桃山　16世紀	徳川美術館	